北海道科学大学研究紀要
第49号（2021年）
研究報告

Bulletin of Hokkaido University
of Science, No.49(2021)
Research Reports

地域の期待に応える高等学校の在り方
～地域の中心校としての役割に着目して～

Research on the Status of the High Schools that Meet the Needs of Local Residents
～Focusing on the Central Roles in the Education in the Local Society～

青山　和弘*　尾形　友秀**

Kazuhiro Aoyama　Tomohide Ogata

概要

今日の高等学校は「地域と協働」することを期待されたり，地域振興の観点から「地域の活性化」の中核になったりすることが求められている．本稿では北海道岩見沢東高等学校の教育活動の具体的な実践を取り上げ，地域における高等学校の役割と地域の期待や生徒の進路希望実現に応える高等学校の在り方として，校訓や学校教育目標の実現のための教育活動等を着実に実施するとともに，地域の中心校として期待されている取組を推進することが重要である．

1. はじめに

北海道は 14 の管内に分けることができ，各管内には北海道庁の出先機関として総合振興局又は振興局が置かれているとともに，それぞれの管内には道立高等学校が設置され，各地域の高等学校教育を担っている．

そうした高等学校の中でも，総合振興局又は振興局が置かれている市町に設置されている，いわゆる伝統校が教育行政との連携や管内の道立高等学校等の中心的な立場を担っている．その一つが北海道岩見沢東高等学校で，空知総合振興局がある岩見沢市に設置されている．

本稿では，北海道岩見沢東高等学校（以下「岩見沢東高校」という.）の教育活動の具体的な実践を取り上げ，地域における高等学校の役割と地域の期待や生徒の進路希望実現に応える高等学校の在り方について考察する．

2. 学校の沿革・概要

岩見沢東高校は 1922（大正 11）年，北海道庁立岩見沢中学校として開校し，間もなく 100 周年を迎える伝統校である．同窓生は 2 万名を超え，政財界や芸術，芸能，スポーツなど様々な分野で活躍している．

現在は全日制課程普通科（各学年 5 学級），定時制課程普通科（各学年 1 学級）を設置している．

空知管内の中心校として，ほとんどの生徒が上級学校への進学を実現するために入学してきており，目的意識が明確で学習や部活動等に積極的に取り組んでいる．

生徒会活動では生徒会執行部が活動方針や行事等の原案を作成し，生徒指導部の教師を通じて職員会議への提案を行ったり，生徒会会計の処理については生徒会役員が校長に決裁を仰いだりするなど，生徒会顧問教師の指導の下，生徒会役員の生徒たちが自発的・自治的な活動を行っている．

部活動も盛んで 2018（平成 30）年度での部活動加入率は 96.3%に達しているとともに，多くの部活動が全道大会への出場を果たしており，出場生徒数は約 300 名（延べ人数）となっている．

2019（令和元）年度卒業生の進路実績（延べ人数）は，国公立大 63 名，私立大 183 名，短大 4 名，各種学校 18 名などとなっている．

岩見沢東高校は，校訓「一　誠実にして行に表裏あるべからず，一　常に守るところあり喜んで規律に従うべし，一　他人を怙まず自力にて学修すべし」の下，「目指す学校像」と「目指す生徒像」を明確に定め，教育活動等の目標としている．

岩見沢東高校は文武両道の精神を堅持し，旧制中学校以来の歴史と伝統を継承するとともに，空知管内のみならず，北海道の中心的な高等学校の一つとして地域の期待に応えるべく，北海道はもとよりわが国の将来を背負うことのできる有為な人材の育成と地域や近隣高等学校等との連携，高大接続改革の動向を見据えた取組を学校の教育活動全体を通じて積極的に推進している．

*北海道科学大学全学共通教育部基盤教育グループ
**北海道教育庁学校教育局健康・体育課

3. 地域医療を支える人づくり

北海道教育委員会は将来の北海道の地域医療を支える人材を育成するため,2008(平成20)年に「地域医療を支える人づくりプロジェクト事業実施要綱」を定めた.この事業を実施する背景には,北海道のこれからの地域医療を長期にわたって支えていくためには,地域医療を支える人材づくりが必要不可欠であるとの認識がある.こうしたことから,北海道教育委員会は北海道大学医学部,旭川医科大学,札幌医科大学並びに北海道保健福祉部と連携するとともに,この事業を推進する指定校等を指定して人材育成に取り組んでいる[(1)].

指定を受けた道立高等学校は「医進類型指定校」となり,医学部医学科への進学を目指す生徒に対して2,3学年の数学,理科,外国語等の授業において少人数指導を行う教育課程を編成・実施する「医進類型」を設置することになる.

医進類型指定校が指定されていない管内については,当該管内に1校の協力校が指定される.

2019(令和元)年度現在の指定校等は表1のとおりである.

表1　医進類型指定校及び協力校

区分	管内	道立高等学校名
医進類型指定校	空知	北海道岩見沢東高等学校
	後志	北海道小樽潮陵高等学校
	胆振	北海道室蘭栄高等学校 北海道苫小牧東高等学校
	渡島	北海道函館中部高等学校
	上川	北海道旭川東高等学校
	オホーツク	北海道北見北斗高等学校
	十勝	北海道帯広柏葉高等学校
	釧路	北海道釧路湖陵高等学校
協力校	石狩	北海道札幌南高等学校
	日高	北海道静内高等学校
	檜山	北海道江差高等学校
	留萌	北海道留萌高等学校
	宗谷	北海道稚内高等学校
	根室	北海道根室高等学校

医進類型指定校や協力校に指定された高等学校は各管内の中心校であり,これらの高等学校は医学部進学希望者を対象とした,①連携大学の教授等による講演や講義を実施する高校生メディカル講座,②地域の医療機関と連携し,病院を訪問・見学,医師との懇談,医療体験などを実施する地域医療体験事業などを行う.

このほか,北海道教育委員会は道内の医学部進学を希望する生徒を対象に,夏季休業期間中4日間の日程で医育大学(医師を教育・養成する大学)訪問・見学,ワークショップなどを内容としたメディカル・キャンプ・セミナーを実施する.

こうした取組を通して,地域医療の現状や医師という職業への,生徒の理解を深めるとともに,使命感を育成することを目指している.

岩見沢東高校は2009(平成21)年度から医進類型指定校となり,2018(平成30)年度までの10年間で31名が医学部医学科へ進学している.

具体的な取組として2017(平成29)年度の実践を次に紹介しておく.

・第1回メディカル講座

11月29日(水)16:00～17:30

札幌医科大学フロンティア医学研究所

免疫制御医学部門　亀倉隆太氏

亀倉氏(岩見沢東高校卒業生)を講師に招き,22名の生徒を対象に「耳鼻科臨床医と研究者としてのこれまでの経験,現在の仕事」をテーマとした講演と「医者になるために必要なこと」に関する質疑を行った.

・第2回メディカル講座

2月16日(金)15:40～17:40

札幌医科大学1年　石垣和也氏

石垣氏(岩見沢東高校卒業生)を講師に招き,11名の生徒を対象に「医師を目指す皆さんへ」をテーマとした講演と「医学部への進学のために必要なこと」に関する質疑を行った.

・高大病連携医療体験実習プログラム

12月から3月にかけて実施

旭川医科大学,江別市立病院との連携により,江別市立病院体験実習を実施し,3月に札幌市内のホテルで開催された医療体験報告会に参加して実習の体験と成果等を発表した.

4. 地域連携特例校との連携・協力

北海道は面積が広大であるとともに,高校生の通学のための交通機関が十分には確保されていない地域があることから,各学年1学級の小規模道立高等学校が41校あり,2019(平成31)年4月時点では道立高等学校全体の約21%を占めている.

北海道教育委員会は地域の教育機能の維持向上や高等学校が地域に果たしている役割の重要性等

を踏まえ,地理的状況等から再編が困難であるとともに,地元からの進学率が一定程度維持されている高等学校を「地域連携特例校」とするとともに,近隣の大・中規模校を「地域連携協力校」に指定し，連携した教育活動等を推進することで教育環境の充実と教育水準の維持向上を図っている[(2)].

地域連携特例校は 2008（平成 20）年度から導入された「地域キャンパス校」を前身としており，地域連携協力校からの教員の派遣による出張授業の実施や遠隔授業などといった授業に関する連携，合同の学校行事や部活動，生徒会交流などの授業以外の教育活動や教職員の研修などでの連携を行っている.

岩見沢東高校も 2019（令和元）年度から北海道夕張高等学校の地域連携協力校として遠隔システムを活用して生徒会同士の交流や外部講師による進路講演会，教職員の校内研修等を双方向で配信するなどして連携・協力を進めている.

5. 3 年間を見通した進路計画

5.1「岩東プラン」の概要

「岩東プラン」とは，岩見沢東高校が取り組む 3 年間の進路指導の内容と各時期において生徒が達成すべき目標を明示したもので，系統的・効果的に進路指導を行い，生徒の進路希望実現を図るための 3 年間の進路計画である（次ページの表 2 参照．岩見沢東高校ホームページより.）.

学年ごとに時期を数か月単位で区分し，区分した時期がどのような時期なのかを明示するとともに，目標を設定することで生徒に目的意識をもたせるなどして，具体的な行動を促すようにしている．3 年間を見通すことができるように,学校行事,考査・模試等，講習，進路学習，講話，面談，パッケージスタディ(PaS)などをいつどのような内容で実施するかをマトリクスでＡ4 判 1 枚にまとめることにより，生徒はゴールを見据えた上で自分の現在地を確認するこができるようになっている.

なお，設定した目標については，職員室や学年掲示板等に張り出すことにより，教職員も生徒もこの目標を意識して岩東プランに基づいた指導や活動に取り組むことができるようにしている.

岩東プランについてキャリア教育の視点からながめてみると，外部講師などによる各種講話や説明会等とパッケージスタディ（PaS）の実施が興味深い．次に，この二つの取組を取り上げてその概要を見ておきたい.

5.2 講話等

岩見沢東高校では外部講師による講話や出前授業，座談会等を年間 30 回以上実施し，講話等の終了後には希望する生徒を対象に，講師を囲んで 1 時間程度の座談会を設定している.

2018（平成 30）年度に講話等を行った主な講師は次のとおりとなっており，生徒は幅広く，さまざまな分野について学ぶ機会を得ることができている.

司法書士，岩見沢年金事務所職員
博多運輸社長，レインボーハート代表
北海道大学教授，北海道教育大学教授
札幌医科大学教授，筑波大学教授
北海道医療大学教授，立命館大学教授
河合塾職員，ベネッセコーポレーション職員
など

図 1　外部講師による出前授業

5.3 パッケージスタディ（PaS）

放課後の時間を活用して実施される学習で，発展的な内容を取り上げるハイレベル講習や基礎学力向上のための講習と自習を組み合わせた学習形態である．放課後 15 時 30 分から 16 時 30 分の時間帯に全ての生徒が講習又は自習に取り組むもので，2018（平成 30）年度には年間 12 回実施した.

ハイレベル講習では国語，数学，英語の 3 教科の講習が設定されている．基礎学力向上のための講習は設定されている学年のみで実施する.

岩見沢東高校の生徒は教科書レベルの内容等については概ね理解する力があることから，生徒一人一人が自分の課題を設定し，その解決や上級学校への進学を実現するための実力を身に付けるための機会の一つとしてパッケージスタディ(PaS)を積極的に活用している.

表２　「岩東プラン」（2019 年度）

学期		前期						後期							
月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
1学年	区分	高校生活への適応期		基礎学力構築期		具体的な進路目標の設定期				弱点の見直し・自己課題克服期					新テストに対応した基礎的な力の向上
	目標	□高校生活のリズムを構築しよう □学習計画をつくる習慣を身につけよう		□家庭学習習慣を確立しよう □自分の進路について具体的に考えよう		□自分の進路目標と文理選択を一致させよう □苦手科目の具体的な対策を実施しよう		□夏休みの経験を生かした学習計画を作成しよう □進路実現の根幹となる国数英の力を伸ばそう		□学習スタイルの総点検をしよう □学習の問題を明らかにし解決策を考えよう					
	学校行事	入学式	宿泊研修		学校祭　夏季休業	秋季体育大会	国・数・英70分を基本とします。共通テストで求められる記述力upを目指します	合唱コンクール		冬季休業	スキー授業		春季体育大会　春季休業		
	考査・模試等	学力テスト（スタディサポート）国・数・英		前期中間考査	第1回進研模試	校内実力テスト	前期期末考査		後期中間考査 第2回進研模試	全員受講が基本です。1月の模試につながります。	第3回進研模試 校内実力テスト	後期期末考査 学研ハイレベル模試	勉強合宿で学んだことを生かして挑戦する大事な機会です。難関大志望者は必ず受けること。		基礎力（知識・理解力）の向上
	講習			【考査の活用ポイント】 ・復習にしっかり取り組もう。理解を定着させる効果があります。成績にじわじわ変化があらわれてきます。	夏期講習	【講習のポイント】 ・1年の講習は、全員受講が基本です。集団で勉強する姿勢をつくれるかどうかが鍵です。	Ⅱ期A講習	講習Ⅱ期B、Ⅲ期A講習	講習Ⅲ期B	講習Ⅳ期　冬期講習		【模試活用のポイント】 ・「模試は3度おいしい」①受験により自分の力を試す②すぐに復習して自分の弱点を知る③1ヶ月後復習して、しっかりした学力を定着させる。	春期講習		
	進路学習				学びみらいPASS事前指導・検査		学びみらいPASS説明会	7月の検査結果をもとにして説明会を実施します。「自分を知る」大事な機会です。		小論文指導	勉強合宿 小論文模試		入試制度説明会		進路意識の向上
	講話					第1回進路講演会	1学年進路講演会（10月）	第2回進路講演会	キャリアに関する講演会						
	面談	担任面談	担任面談		全校生徒に向けた講演になります。新たな知見を自分にいかそう。	担任・教科・進路面談		担任・教科・進路面談		担任・教科・進路面談	担任・教科・進路面談	担任・教科・進路面談			
	パッケージスタディ（PaS）							PaS1・PaS2	PaS3・PaS4	PaS5・PaS6		PaS7・PaS8			基礎力の向上
	進路探究学習 LHR	3年間の進路学年集会	医療に関する講話①	岩東生としての基礎をつくる大事な取り組みです。生活も勉強も集団として取り組む意識を高めます。	進路資料説明会	大学進学者講話		【文理選択のポイント】 ・得意、不得意科目だけで決定しないこと。不得意科目と思っていても、たんに勉強時間が不足しているだけとのことがよくあります。「面白いと思う科目は何か」「どんな学問分野に興味があるのか」を大切にして文系、理系を選択し				入試制度説明会			自己の課題を探求する力の向上
	進路探究学習 総合学習		グループ演習（宿研）		学びみらいPASS事前指導	北海道大学での研究や生活について、教授やOBを招いて講話及び座談会を行います。北大を理	北大についての講話 学びみらいPASSワーク	学びみらいPASSワーク				活動報告書の作成（3月）	次年度に向けて		
	手帳の取り組み	手帳の意義について	手帳の使い方①	手帳評価①	手帳評価②	手帳評価③	手帳評価④	手帳の使い方②	個別手帳評価週間	個別手帳評価週間	手帳の振り返り（3月）		【1～4月上旬のポイント】 ・ここまで忙しかった生活が落ち着く時期。この時期を無駄にしないこと。得意な科目をさらに伸ばし、苦手科目をじっくり克服する計画を立て実行することで、自分の進路が現実になることを忘れずに。		計画立案力の向上
									ここまで記入してきた内容をもとに担任と面談を行います。						
2学年	区分	学習習慣の確立・進路意識醸成期			学力充実期		進路意識形成期		3年生0学期・受験意識強化期			進路実現の決意期			新テストに対応した思考力・表現力の向上
	目標	□学習スタイルを再確認しよう □進路目標を再確認し、年間学習計画をつくろう		□勉強時間をつくりだすスキルを高めよう □夏休みに向けて自分の課題を明確にしよう		□受験を意識した学習計画をつくろう □模試の見直し・活用スキルを高めよう		□ここから1年間の学習計画をつくろう □苦手教科の対策など自分の課題を明らかにしよう				□志望校の過去問に取り組もう □苦手科目の克服に取り組もう			
	学校行事等	始業式			学校祭　夏季休業	秋季体育大会		見学旅行		冬季休業	スキー授業		卒業式 春季体育大会　春季休業		
	考査・模試等	学力テスト（スタディサポート）国・数・英		前期中間考査	難関大志望者は、必須。積極的に挑戦すること。	実力養成テスト 学研ハイレベル模試	前期期末考査		後期中間考査 第2回進研模試	5教科（国数英理社）での模試のスタートです。	第3回進研模試 校内実力テスト （小論文模試）	後期期末考査 進研早期マーク模試			知識・理解力の向上 記述力の育成
	講習	【学習スタイル確立のポイント】 ・「学習計画は常に見直すこと」。最初からうまくいく計画をたてることはできません。学習計画を立案する力が、今後の勉強にとても重			夏期講習	【講習のポイント】 ・全員受講が基本です。2年の夏休みにしっかり学習した者が第一志望を達成していることはデータからも明らかです。			Ⅲ期B講習	冬期講習	勉強合宿	【模試のポイント】 ・この時期は、いつもより時間がつくりやすい。じっくり模試を復習すること。	春期講習		
	進路学習				学びみらいPASS事前指導・検査		学びみらいPASS説明会			【見学旅行後のポイント】(1)勉強のギアを一段高く入れる。(2)授業の集中力を高める。(3)朝、昼休みを利用して勉強する。			入試制度説明会		進路意識の向上
	講話			【学びみらいPASSのポイント】 ・この1年間での実力の伸長と、自分の持つ力の伸長を知る貴重な機会です。		第1回進路講演会		第2回進路講演会	キャリアに関する講演会				【講習のポイント】 ・3年生4月に実施する記述模試、マーク模試に照準を合わせて取り組もう。		
	面談	担任面談	担任面談					担任・教科・進路面談		担任・教科・進路面談	担任・教科・進路面談	担任・教科・進路面談			
	パッケージスタディ（PaS）	「面談で得るものは大きい」(1)今の自分を知る。(2)新たな進路の考えを得られる。(3)自分に合った勉強方法が手に入る。						PaS1・PaS2	PaS3・PaS4	PaS5・PaS6		PaS7・PaS8			主体的に学習する力の向上
	課題探求プレゼン学習 LHR				進路資料説明会	大学進学者講話①				進路別ガイダンス	難関国公立大、難関私大、看護等、分野に分かれて受験の傾向と今後の対策を考えます。	入試制度説明会			進路意識の向上
	課題探求プレゼン学習 総合学習				学びみらいPASS事前指導		学びみらいPASSについて	見学旅行について					活動報告書の作成		探究する力の向上
3学年	区分	自己学習スタイル確立期			学力の飛躍期		受験総合力完成期			志望校挑戦期		完全燃焼期			新テストに対応した得点力の向上
	目標	□志望校の情報を収集しよう □模試を利用して自分の課題を明確にしよう		□隙間時間を利用するスキルを高めよう □国・数・英の力を充実させよう		□科目減や推薦は慎重に判断しよう □受験までの学習計画を再構成しよう		□時間を区切って学習することで集中力を高めよう □リズムある生活を心掛けよう				□後期日程まで視野を入れた計画をつくろう □最後の最後までやり遂げよう			
	学校行事等	始業式			学校祭　夏季休業	秋季体育大会				冬季休業		家庭学習期間	卒業式		
	考査・模試等	課題テスト 総合学力記述 全統マーク①	この結果＋100点が本番の点数（岩東生の平均）。	前期中間考査 総合学力マーク	総合学力	全統マーク② 全統記述	前期期末考査 ベネ駿マーク①	全統マーク③ ベネ駿記述② 全統記述③ 北大オープン（11月）	ベネ駿合マーク③ 全統（共通）プレ 後期中間考査	駿台（共通）プレ	共通テスト	私立入試 前期試験	中期試験 後期試験		新テスト得点力の向上
					ここで頑張れた者は確実に合格しています。志望校の試金石になる模試です。	すべての模試をやり遂げる！！本番の試験耐力を身につける模試3つ。全部受けてこそ価値がある。				【冬季休業のポイント】「あわてない焦らない」(1)自分の課題を整理する。(2)各教科の勉強時間を決めて取り組む。(3)確実に理解している部分を増やす。			「まだ中期と後期の個別試験がある！」集中力を切らさず最後までやり遂げることで合格をたぐり寄せることができる。己を信じて最後までやり切ろう。		
	進路関係	【生活のポイント】「細切れ時間を有効に使う」 ・部活や学校祭の準備等忙しいこの時期。ちょっとした時間に取り組む勉強内容を決めること。		Ⅰ期講習	夏期講習		Ⅱ期A講習	Ⅱ期B講習 Ⅲ期A講習	Ⅲ期B講習	冬期講習	特別授業	特別講習			
	講話			【夏季休業のポイント】コツコツやり遂げることが大事。・苦手科目を克服する最後の時期です。勉強計画を立案し、生活リズムを維持してやり遂げよう。		第1回進路講演会		第2回進路講演会							進路実現意識の向上
	面談	担任・教科・進路面談	担任・教科・進路面談					担任・教科・進路面談	担任・教科・進路面談	担任・教科・進路面談	担任・教科・進路面談	担任・教科・進路面談			
	パッケージスタディ（PaS）							PaS1・PaS2	PaS3・PaS4	PaS5・PaS6	【共通テスト後のポイント】「個別試験が合否の鍵を握っている」 ・センター試験は勉強のピークではない。2月下旬にある前期個別試験に向けて、この1ヶ月をどう過ごすかがとても大事です。しっかり先をみて取り組もう。				主体的に学習する力の向上
	進路課題解決学習 LHR				進路資料説明会		共通テスト出願指導	3学年「受験に向けて」講話	大学説明会						
	進路課題解決学習 総合学習									活動報告書の作成（3月）					
全学年	体験学習・説明会等（校外）	【体験学習・説明会等のポイント】「参加で得るものは大きい！」 (1)調査書（高校で作成）で評価されます。 (2)面接試験でアピールできます。 (3)勉強へのやる気を生みます。 (4)自分の進路がより明確になります。		【看護】岩見沢高看 【医療】メディカルチャレンジ	【看護】中央労災、勤医協体験 【医療】メディカルキャンプセミナー	【看護】砂川高看 【大学】北海道大学OC	大学を知る絶好の機会です。逃すことがないようにしよう。	10月～12月は、校内で説明会が多く設定されます。複数参加することで、自分の進路をより明確にすることができます。			【医療】江別市立病院 【医療】勤医協医学部面接指導(3年) 【大学】難関大学習セミナー	【医療】北海道民医面接指導(3年)	【医療】医療体験報告会(2年)		【1学年】【2学年】【3学年】広い視野と主体的に進路実現を目指す態度の向上
	講義・説明会等（校内）		【医療】座談会 【心理】座談会	【医療】札幌医科大学	【大学】筑波大学説明会	【大学】OB座談会 【医療】北大薬学部 【医療】札幌医科大学座談会 【大学】体育系大学講話	【大学】北海道大学座談会 【医療】同志社大学	【機械知能】北見工業大学 【創生学】新潟大学 【英文】北星学園大学	【新領域】東京大学 【大学】北海道教育大学函館校、釧路公立大学、北見工業大学、千歳科学技術大学、中央大学、法政大学等	【経営】北海学園大学 【プログラミング】公立はこだて未来大学 【医療】メディカル講座、医学部生招へい事業 【大学】弘前大学 【地球惑星化学】京都大学	【キャリア】法律教室(3年) 【キャリア】年金セミナー(3年) 【キャリア】一人暮らし(3年)		【注意】 ※体験学習・説明会（校外）及び講義説明会等（校内）は、平成30年度実施実績をもとに表記しています。今年度の実施については、内容と時期を変更する場合があることに注意してください。		

【高校生活のポイント】
(1)学習リズムの確立
課題＋自学のバランスづくり
(2)生活リズムの確立
通学時間・部活動時間の把握

【文理選択のポイント】
・得意、不得意科目だけで決定しないこと。不得意科目と思っていても、たんに勉強時間が不足しているだけとのことがよくあります。「面白いと思う科目は何か」「どんな学問分野に興味があるのか」を大切にして文系、理系を選択し

6. 考察

ここ数年，高等学校の在り方について「地域との協働」という視点から語られることが多くなった．高等学校にとっては少子化が進行する中で学校の魅力化や社会に開かれた教育課程を実現することにつながり，学校運営の改善や生徒の生きる力の育成に結び付くと考えられる．一方，地域社会にとっては高等学校の持続的な存続とともに，地域の活性化や地域を担う人材の育成など地域振興の核としての役割を期待することができる．

それぞれの高等学校を取り巻く状況や，地域・保護者がどのような期待をもっているのかによるが，高等学校は教育を行うことはもとより，地域活性化のエンジンになるという期待に応えることが求められているといえる[(3)]．

こうしたことを踏まえてこれまで見てきた岩見沢東高校の取組を考察し，まとめとする．

6.1 地域における高等学校の役割

表1にあるとおり，医進類型指定校に指定されている高等学校は北海道の各管内の伝統校であるとともに，進学校といわれている高校である．その一つが岩見沢東高校であり，2009（平成21）年度から医進類型指定校として医学部医学科に一定程度の進学者を輩出してきた．広域性という特徴をもつ北海道において地域の中心校が進学実績を維持し，生徒の進路希望を実現させるという期待に応えていくことは重要である．

また，都市部以外では小規模校が多く，生徒に幅広い学習機会を確保するとともに，進路希望に応えるためには，高等学校同士が連携・協力することで学習内容を充実させることと学習の質を向上させることが必要である．この点においても岩見沢東高校のように教職員数が多く，かつ複数校の勤務経験を有している教職員の割合が高い高等学校の存在意義は大きい．

岩見沢東高校のような学校は，道内外で活躍・貢献することのできる人材の育成と北海道の高等学校教育の質の維持向上をリードするという役割を果たすことが求められており，こうしたことを踏まえた学校経営と教育活動の実施が期待される．

6.2 地域・保護者・生徒の期待に応える進路指導

2017（平成29）年度に実施した校長による教員面談と校内研修を通じて明らかになった課題の一つは「進路目標達成に向けた強い意志をもつ生徒が少ない」というものであった．

このことを踏まえて「目指す学校像」「目指す生徒像」が定められ，それらを実現するために岩東プランが策定された．表2からもわかるとおり，岩東プランの内容は上級学校への進学を実現するためのロードマップといえるものであるが，「目標」に着目するとキャリア教育を通して生徒に育成することが期待されている基礎的・汎用的能力の中でも特に「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」を3年間で育成することにつながるものとなっている[(4)]．したがって，岩東プランの策定はそのプロセスを通してそれぞれの実践項目がキャリア教育の視点から見直しが図られ，卒業時の進路希望実現のみならず，社会人，職業人として求められる資質・能力の育成を視野に入れたプランになっていると考えられる．

また，進路指導部が岩東プランを策定したことにより，具体的な取組として取り上げた講話等とパッケージスタディ（PaS）についても進路指導部が主導して各学年団と連携・協力して実施されている．学校運営の観点から見るとそれぞれの学年団主導によるそれぞれの進路指導からの脱却が図られ，キャリア教育の視点を踏まえて学校全体で取り組む進路指導体制の構築が進んだといえる．

6.3 今後の方向性

高等学校教育の目的について学校教育法では「中学校における教育の基礎の上に，心身の発達及び進路に応じて，高度な普通教育及び専門教育を施す」（第50条）と規定している．各高等学校ではこの目的の下，校訓や学校教育目標の実現のための教育活動等を着実に実施することを忘れてはならない．その上で，「地域との協働」や「地域の活性化」を図る取組を積極的に取り入れることで，高等学校としての存在意義を高めていくことが大切である．

参考文献

(1) 北海道教育委員会：地域医療を支える人づくりプロジェクト事業実施要綱，p.1，2016.

(2) 北海道教育庁学校教育局高校教育課：地域連携特例校・協力校等取組事例集（平成30年度版），p.1，2019.

(3) 浦崎太郎：本格化する高校の地域連携ー「地域との協働による高校改革推進事業」を中心にー，月刊高校教育8月号，学事出版，pp.32-35，2019.

(4) 文部科学省：高等学校キャリア教育の手引き，pp.21-22，2011.